

# 「わが家の避難行動マニュアル」の書き方について

小田原市では「わが家の避難行動マニュアル」を作成し、全戸配布いたしました。これは、災害が発生した時に、住民の皆様が適切な行動をとれるようにするためのものです。

以前配布しました、防災マップや洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ等を参照しながら、自分が実際に避難する場所などを記入することで、災害発生時の行動を確認してください。

防災マップ等が、お手元に無い方は、防災マップ等の写し(抜粋)を添付いたしましたのでご利用ください。

防災マップ等は市のホームページでも公開しています。

作成した「わが家の避難行動マニュアル」は、冷蔵庫や玄関などに貼ったりして、いつも確認できるようにしましょう。

各種マップはホームページでも確認できます。

小田原市ホームページから「いざというときに」をクリック

- 防災マップ等
  - 小田原市防災マップ
  - 小田原市洪水ハザードマップ
  - 小田原市土砂災害ハザードマップ
  - 小田原市海拔マップ(全地域)
- 防災関係資料
  - 小田原市海拔マップ(全地域)
  - 箱根山(大涌谷)火山災害対応マニュアル策定
  - 災害時要配慮者支援マニュアル

## ● 記入の仕方 <地震編>

### ステップ①

津波の危険性について確認をする。

### ステップ②

地震が発生した場合の避難の流れを確認し、避難先を決めておく。

空白部分に自分が避難する一時避難場所を記入しましょう。  
一時避難場所は地域ごとに違うので、自治会やご近所同士で確認しましょう。

### わが家の避難行動マニュアル <地震編> 保存版

地震発生 → 一時避難場所へ避難 → 地域で安否確認 → 帰宅する / 広域避難所へ避難

津波の危険性確認 → 高台または津波避難ビルへ避難 → 安全が確認できるまで待機

自宅の状況確認 → 自宅に大きな被害なし → 自宅に大きな被害あり(生活ができない) → 広域避難所へ避難

津波の危険性確認 → わたしの住んでいる場所の海拔は、**○** m です。

津波の危険性確認 → わたしの住んでいる地域には、津波による浸水予測が **ある** / **ない** ですか？

津波の危険性確認 → 予測される最大浸水深は、**○** m

防災情報は、防災マップで確認しよう！  
小田原市防災マップは、津波の浸水予測・浸水深、地域の海拔ポイントの他、津波避難ビル(津波一時避難施設)・広域避難所など、防災情報が確認できます。  
●小田原市ホームページで「防災マップ」のデータ公開URL: <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/disaster/disaster/nature/seismin/bousaimap.html>

津波による最大浸水深の確認は、神奈川県ホームページ、または、小田原市役所にお問い合わせください。

海拔は添付の「海拔マップ」か「防災マップ」等で確認しましょう。お近くに「海拔表示板」があれば、そちらも参考にしましょう。

マップに記載されている数字が「海拔」です。

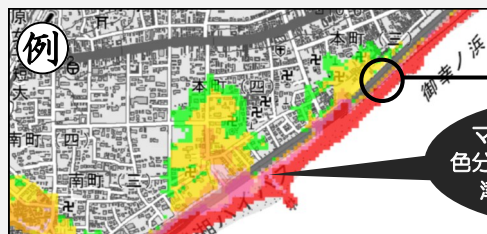


近所に海拔表示板があれば、そちらも参考にしましょう。

添付の「神奈川県津波浸水想定図」で自宅の場所を確認し、津波による浸水予測が「ある」か「ない」かを確認しましょう。

浸水予測がある場合はその浸水深を確認しましょう。

※津波浸水予測は、沿岸の該当地区にのみ資料添付いたします。



### 【凡例】

浸水深	
0.01m 以上 0.3m 未満	緑
0.3m 以上 1.0m 未満	黄緑
1.0m 以上 2.0m 未満	黄色
2.0m 以上 3.0m 未満	オレンジ
3.0m 以上 4.0m 未満	赤
4.0m 以上 5.0m 未満	赤
5.0m 以上 10.0m 未満	赤
10.0m 以上 20.0m 未満	紫
20.0m 以上	紫

# ● 記入の仕方〈風水害編〉

## ステップ①

河川洪水による危険性と浸水想定を確認する。

## ステップ②

土砂災害の危険性を確認する。

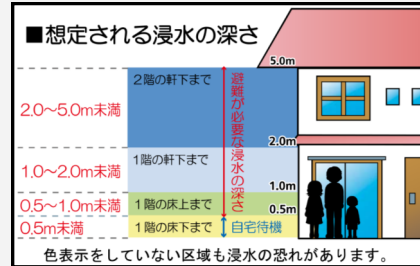
## ステップ③

どの時点で、どのような行動をとるのか、また、その避難先について事前に決めておく。

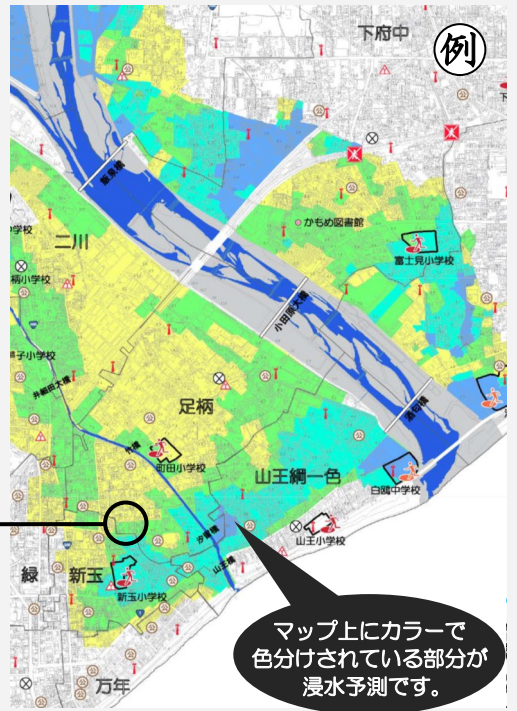
自宅周辺の危険な河川や浸水想定(浸水の深さが何mなのか)などは、添付の資料のほか、洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ(河川洪水情報も掲載)で確認して空白部分に記入しましょう。

※各マップはホームページで公開中。

浸水予測が0.5m以上の場合、どの情報が発令された時に、どういった行動をとるか家族で事前に決めておきましょう。



マップに記載されている、凡例の色を参照して想定される浸水の深さを確認しましょう。



事前の避難(早期避難)の避難所は近隣の小学校となります。日頃より、複数の避難先について検討しておきましょう。

事前に自主避難(早期避難)する場合は、**〇〇小学校**に避難します。

※これは、親戚の家や友人の家など、安全な場所へ早めに避難するのも良いでしょう。

土砂災害の危険箇所は、添付の資料が「土砂災害ハザードマップ」で自宅の周辺に急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域などの危険箇所がないか確認し、「ある」「ない」を〇で囲みましょう。



※「土砂災害ハザードマップ」は、平成24年度~26年度に地区内に危険箇所がある自治会にのみ配布しました。  
※緑、新玉、万年、幸、十字、山王網一色、足柄、二川、下府中、富士見、桜井、豊川、上府中、酒匂・小八幡地区は、土砂災害ハザードマップはありません。

浸水予測は、川が氾濫した場合、**〇〇m**の浸水予測が0.5m(50cm)以上の場合、**〇〇川**に、**〇〇**に避難します。

浸水予測が0.5m(50cm)未満の地区は、原則、**自宅待機**となります。

土砂災害警戒区域は、**〇〇川**、**〇〇**に避難します。

土砂災害警戒区域は、**〇〇川**、**〇〇**に避難します。

土砂災害の危険箇所が「ある」に〇を付けた方は、どの情報が発令された時に、どういった行動をとるか家族で事前に決めておきましょう。

土砂災害の危険が予想される方は、空白部分に自宅近くの風水害等避難所(土砂災害時一時避難施設)を記入しましょう。

※風水害等避難所(土砂災害時一時避難施設)は、「土砂災害ハザードマップ」に記載されています。最寄の施設を確認し、記入しましょう。

土石流の危険な場所、または、がけ崩れの危険な場所で「ある」に〇を付けた方は、どの情報が発令された時に、どういった行動をとるか家族で事前に決めておきましょう。

土砂災害の危険が予想される方は、空白部分に自宅近くの風水害等避難所(土砂災害時一時避難施設)を記入しましょう。

※風水害等避難所(土砂災害時一時避難施設)は、「土砂災害ハザードマップ」に記載されています。最寄の施設を確認し、記入しましょう。

風水害等避難所	
避難所	住所
石橋 保育園	石橋186
宝 寿 寺	石橋188
米 神 公民館	米神469-1
正 寿 院	米神449
根府川 公民館	根府川199
片瀬 小 学 校	根府川1534
岩 泉 寺	根府川187
ほうあん 第一 老人 会	根府川389
江 之 浦 公 民 館	江之浦340
ドライフィンあひや 公民館	江之浦109-1
災害時要援護者施設	
施設	住所
江 之 浦 保 育 園	江之浦328-1